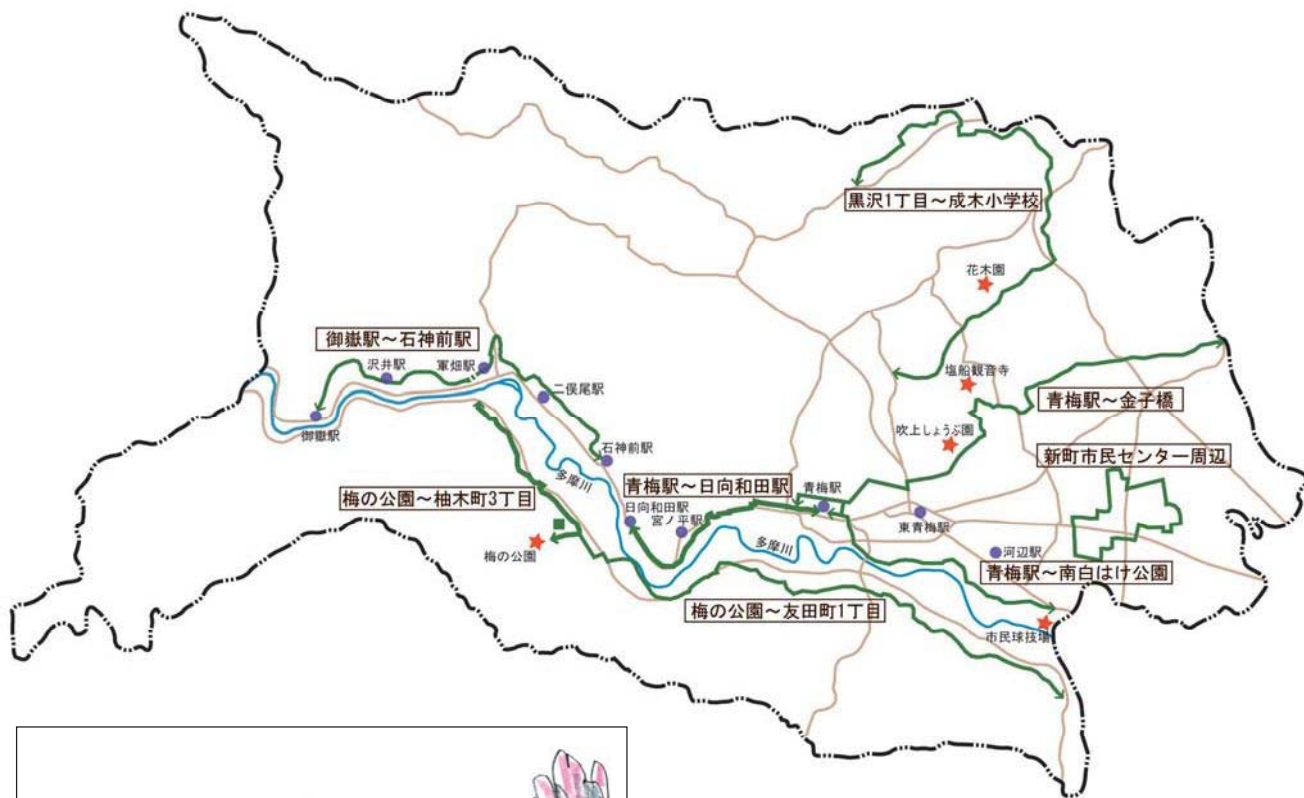


～安全で安心なみちづくりに向けて～

「青梅市健康と歴史・文化の路」整備事業計画



平成 23 年 3 月  
青 梅 市

## 安全で安心なみちづくりに向けて

道路は、市民の活動や経済・産業活動などを通して、人や車が行き交い、私たちの生活に欠かせない社会基盤であります。暮らしやすい生活をするうえで、安全で安心な通行を確保することが重要であります。

青梅市は、市民マラソンの草分けである青梅マラソン大会や奥多摩溪谷駅伝大会などの競技を実施する中で、街なかをジョギングする人やウォーキングを楽しむ人が多く、また、古くからの歴史や文化、四季折々の自然を訪ねて歩く人も増えております。

現在、市民の皆さんが利用されている大部分の市道は、車道と歩道の区分がなく、また、古くから利用されている道路は、幅員が狭く、車と人が、同じ空間を通行しており、十分に安全な状況ではありません。しかし、こうした道路を拡幅し、歩道を整備するためには、地権者の合意と多額の費用を必要とすることから、長い年月を費やします。

このため、市では、健康の保持や増進を目的に走る人や歩く人、歴史や文化を訪ねて散策する人の利用が多い市道について、「青梅市健康と歴史・文化の路」と位置づけ、事業計画を策定し、安全で安心な道路整備を進めることとしました。

「青梅市健康と歴史・文化の路」の路線については、「ウォーキングマップ」などのコースや周辺の運動施設などの配置による健康の要素、社寺仏閣や史跡などの歴史や文化を伝える要素、山や川への眺望、沿道の生け垣や石積みなどの自然景観の要素を持つ立地条件のほか、道路の愛称名による住民の愛着要素をもとに比較検討し、評価の高い8路線の市道を整備路線として選定しました。

そして、事業目的の要素を多く含み、市民の利用が多く、安全性の向上を必要とし、事業効果の高い路線を優先整備路線と決めました。また、通行する車両の速度抑制や注意喚起、歩行者の安全性や快適性の増進を図ることを目標とした整備方法などをまとめた整備事業計画を策定しました。

安全で安心なみちづくりにむけて、「青梅市健康と歴史・文化の路」整備事業を計画的に進めてまいります。

青 梅 市 長                      竹 内 俊 夫

～安全で安心なみちづくりに向けて～  
「青梅市健康と歴史・文化の路」<sup>みち</sup>整備事業計画

目 次

1	事業の目的と内容	1
(1)	事業の目的	1
(2)	事業の内容	1
2	計画の概要	1
(1)	計画策定の背景	1
(2)	計画路線の選定要件	2
(3)	計画策定の方法と経過	2
3	「健康と歴史・文化の路」の整備路線	3
(1)	必須要件による路線選考	3
(2)	候補要件による路線選考	3
ア	路線選定の考え方	3
イ	路線の評価	4
(3)	整備路線の選定	5
4	「健康と歴史・文化の路」の優先整備路線	20
(1)	優先整備路線	20
ア	整備効果の高い区間	20
イ	優先整備路線の選定	20
(2)	整備区分	24
ア	優先整備路線の区間特性	24
イ	優先整備路線の整備イメージ	25
5	「健康と歴史・文化の路」の整備方法	26
(1)	整備方法の基本的考え方	26
ア	安全・安心の確保	26
イ	道路舗装の材質	26
ウ	区間特性に応じた整備区分	27
エ	使用素材	27
オ	入口部の明示	27
(2)	整備方法	28
ア	区間特性別の使用素材	28
イ	歩道部・車道部の幅員構成	28
ウ	区間特性別の舗装構造	30
エ	入口部・交差点の舗装	32
6	「健康と歴史・文化の路」の整備事業計画	34
(1)	整備事業計画	34
(2)	事業計画の内容	34
ア	優先整備路線(歩道部・車道部、入口部・交差点の舗装整備)	34
イ	整備路線(入口部の舗装整備)	34
ウ	付帯する整備	34